

## 飯山市黒岩山 山行記録

報告者:木下

- ・日 2011年5月14日(土)
- ・メンバー 木下・村山・田中健・他3名
- ・目的 ヒメギフチョウorギフチョウを見たい!
- ・黒岩山中腹P発9:25→黒岩山山頂着11:15→山頂発12:20→桂池看板前  
13:40→P着15:10

昨年、登山道が分からず敗退したリベンジ。  
黒岩山中腹、車道脇の空地に車を置き、元信濃平スキー場ゲレンデ跡を登っていくが、目指すブナ林枝尾根へは踏み跡すらない。猛烈なやぶ漕ぎの末、ようやく、稜線に出た。

と・頭の上を高く、せわしなく舞っている!ギフチョウだ!!何頭も舞い過ぎていく。整備された信越トレイルと合流してすぐ、黒岩山の山頂に着いた。大休憩。

ここからは残雪の稜線となる。カタクリもマンサクも満開だ。分岐を桂池に下る。眩しいほどのブナの新緑と残雪、ミズバショウやクロサンショウウオにも出会った。そして湖面波立つ桂池。新緑と花々とギフチョウが舞う車道をゆったりPに下った。

黒岩山は、全山カタクリ。希少なギフチョウとヒメギフチョウの今棲地として、国の天然記念物にも指定されている。下草を刈って蜜を吸うカタクリを絶やさず、枝を払って蝶が悠々と飛べる空間を作り、食草のウスバサイシンを増やし移植して卵を産ませ・貴重な蝶を守るための、大変な努力の一端を知った。やぶ漕ぎから念願の蝶・残雪・新緑・花々・この山の豊かな自然をたっぷり満喫できた一日だった。

